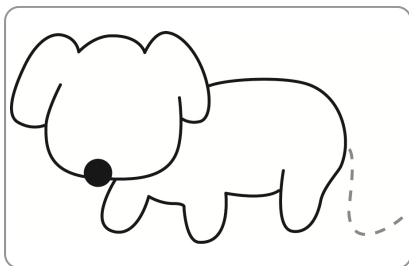


もじのかたちをとらえるための ひらがなれんしゅうちょうを用いた

ひらがな指導のポイント

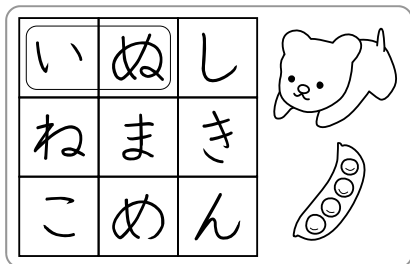


◎ 鏡文字を防ぐ

絵の中に文字を組み込み、「し」が「J」のようになるのを防ぎます。

◎ 耳からのヒントも活用

「も」は「しっぽのし、横線2本」と唱えながら練習します。



◎ 読む力の基礎を養う

「いぬ」を「居ぬ」ではなく「犬」と読むのは簡単なことではありません。ことば遊びを通じて、読む力の基礎を養います。

◎ 音についての気づきを促す

「米」の「め」と「麺」の「め」では音の高さが異なることへの気づきを促します。



◎ 考えて読む力を養う

「か」に濁点をつけたら「が」と教え込む代わりに、場面や文脈から推測を働かせながら読む力を養います。

**つまずきを防ぎ
自ら学び取る力を伸ばす！**

◆ 書く練習の手順 ◆

① 基本形を絵の中で印象づけ

「す」を「十」、それから「〇」のように書く子もいます。まずは絵の中の点線を指でなぞって動きをとらえましょう。

② 目だけでなく、耳からも

「す」は「横線、たてくる」、「も」は「しっぽのし、横線2本」と書き順を声に出しながら、机の上などに、指で書く練習をします。

③ 白抜き文字を使って

②を繰り返したら、白抜き文字を使ってなぞり書きをしてみましょう。最初から上手にできなくても、「うまくなってるね」などとほめながら練習しましょう。

④ □の中に書く

このときも、書き順を声に出しながら練習すると効果的です。必要に応じて、補助線を書きくわえてください。

◆ 例えばこんな練習も ◆

① 文字当てゲームを楽しむ

- ・ 「い、こ、り」を示して、「この中のどれかを背中に書くよ。さあ、どれを書いたでしょう」と文字当てゲームを楽しみます。
- ・ 最初はわかりやすい2、3文字から、だんだん文字数を増やし「わ、れ、ね」など難しい文字へとステップを踏みましょう。
- ・ 練習が進んだら、「背中に書いた文字を、机の上に指で書いてみて」とします。
- ・ 必要に応じて、「横線、たてくる」など耳からのヒントを加えます。

② 体全体を使って

- ・ 体全体を使って、空中に大きく文字を書きます。
- ・ 文字当てゲーム、伝言ジェスチャーゲームようにして楽しむこともできます。

③ 耳や目を使う他に

- ・ 紙ヤスリのようなざらざらしたものの上に指で文字を書き、さわった感覚を使って文字の形、鉛筆の動きをとらえます。
- ・ このときも、目を閉じて練習すると一層効果的です。
- ・ やはり必要に応じて、耳からのヒントを加えます。

絵の中の点線を指でなぞって、文字の基本形を捉えます。「ジェットコースター、くるーん」などと言いながら練習しましょう。

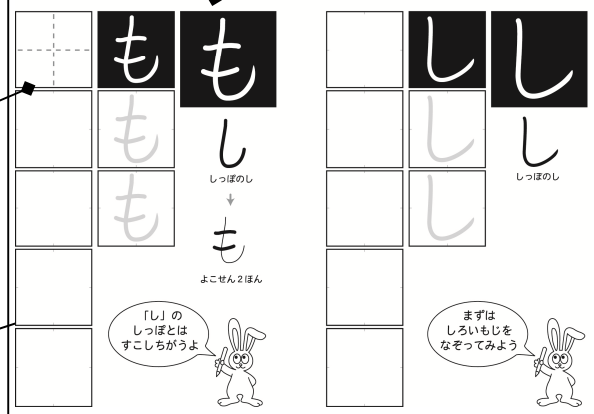
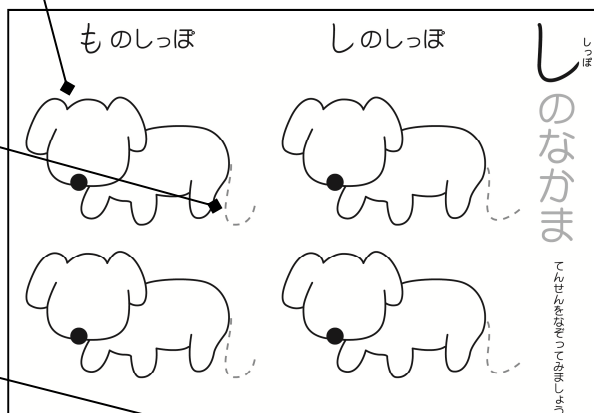
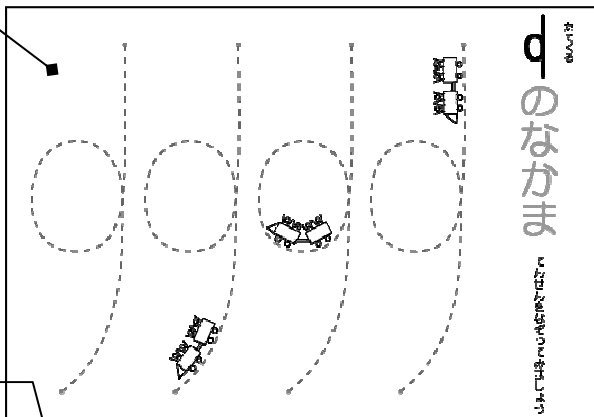
「し」を「J」のように書いてしまう子には、「犬はどっちを向いていた」と声をかけます。

「しっぽの形が少し違うね。どんなふうに違っている」と声をかけ、字形についての気づきを促します。

なぞり書きには白抜き文字を使えば、はみ出しでも目立ちません。

補助線があった方が書きやすい子もいれば、そうでない子もいます。必要に応じて、書き加えてください。

書き順はリズムカルな言葉に乗せて示します。



◆ ここに注意！ ◆

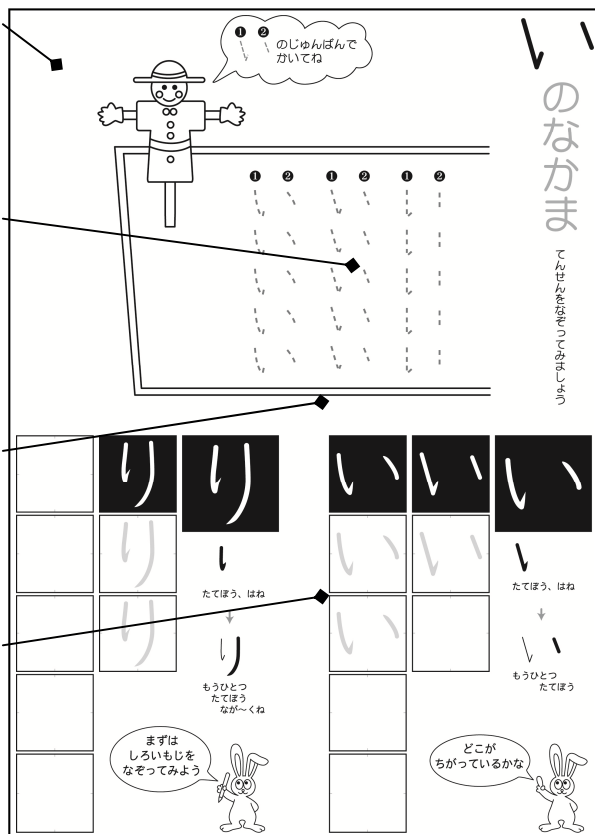
空中に文字を書いて示すときは、鏡文字などの混乱を防ぐため、必ず子ども達と同じ方向を向くようにしましょう。

子ども達にとって、文字のわずかな傾きを見取るのは容易なことではありません。

「い」と「こ」の区別に苦労する子もいます。まず、「い」は「縦の線が2本」が基本であることを確認しましょう。

ステップを踏んで練習することで、文字形に対する気づきを促しましょう。

「上手に書けたね。どこをどうしたらもっと上手になるかな」と子ども達自身に考えさせるようにします。



◆ 気をつけたいポイント ◆

◎ 取り組みやすい文字から始める

50音順に練習をする必要はありません。取り組みやすい文字から練習を始めましょう。

◎ その子に合わせた目標を設定する

「正しく、美しく」は大切な目標ですが、うまく書けない子、ゆっくり伸びる子すなわちできない子ではありません。成長に合わせた目標を設定し、ほめることから始めましょう。

◎ 試行錯誤を認めて、ほめる

手を取って書くのも1つの練習方法ですが、それでは学び取る力が育ちません。たとえ上手には書けなくても、最初の一步だからこそ、試行錯誤の権利を認め、自ら考える力を養いましょう。

◆ 考えて読む力を養う ◆

① 場面や文脈を考える力を養う

「おにがしまにいく」は「鬼が、島に行く」とも「鬼ヶ島に行く」とも読めます。読む力を養うためには、場面や文脈から考える力を養うことも大切です。

「い+ぬ」を「犬」と読む練習に、「桃太郎はどこに行くでしょう」と問いかけた上で読む練習を並行させましょう。「鬼ヶ島に行く」を「あにがしまに」などとする読み間違えを防ぐためにも有効です。

② 音についての気づきを促す

「秋」の「き」と「キノコ」の「き」では音の高さがことなることなど、ことば遊びを楽しみながら気づきを促しましょう。音の高さに合わせて腕を上下したり、背伸びをするなど体全体で音を表現できるようにします。

絵を参考に隠れた語を探し出す練習により、場面や文脈から推測して読む力を養います。

「秋」の「き」と「キノコ」の「き」では音高が異なります。このような気づきは、将来の英語学習にも役立ちます。

「丘」「お菓子」「お頭」など、ことば遊びを通じて音韻操作能力を養い、語いを増やすこともできます。

準拠の学習ソフト「ひらがなの森」ではさらに多くのことば遊びを楽しむことができます。

ゆ
の
み
る
く
る
み



あ
り
す
る
め
ん
ち



た
い
ふ
う
と
う
ふ



あ
き
の
こ
う
え
ん



か
わ
に
ほ
ん
や

なにがかくれているかな

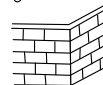
す	な	お	け
お	か	し	ら
は	よ	ろ	い
な	し	い	す



へ	い	ち
い	た	こ
わ	に	く



い	ぬ	し
ね	ま	き
こ	め	ん



いくつ
みつけられた
かな



◆ 自ら学び取る力を養う ◆

① 暮らしの中で学ぶ

「か」に濁点をつければ「が」と教え込むこともできますが、そればかりでは、学び取る力を育てることはできません。街の中で「鍵：かぎ」という看板を見たら、「かき？ あっ、かぎ！ そうか、‘き’に点々で‘ぎ’だね」と子ども達自身が気づけるようにしましょう。

学ぶ力を身につけさせるには、興味や関心を高めることが重要です。最初の一步となる「ひらがな」の練習だからこそ、暮らしの中で学ぶ習慣を身につけさせましょう。

② 情報を総合し、判断する力を養う

清音が身についたら、濁音や半濁音の練習は、場面や文脈から自分で考えて読めるようにしましょう。すでに身につけた知識を生かすことは、様々な情報を総合して判断する力の育成にもつながります。

「カラスはカァカァ、アヒルは？」と問いかけながら、自分で考えて読む力を養います。

準拠の学習ソフト「ひらがなの森」では、画像を見ながらリズムに乗せて、濁音、半濁音の練習をすることもできます。

練習のまとめとして自ら濁点をふりながら、音の違いを確認します。
「蚊」と「蛾」等、他にも例を探すなどの練習も有効です。

がぎぐげご
 なんてよむかな



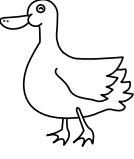
きこきこ
か



かあかあ



ぎこぎこ



があがあ

() ()

か
き

か
き



(○) ()

が
らす

か
らす




「が」がつくのは
 どちらかな？

◆ お役立てくださいリヴォルヴの教材 ◆

すべての教材が、実践から生まれたオリジナル教材です！



もじのかたちをとらえるための ひらがなれんしゅうちょう

定価 600円(本体571円+税)

NHKや全国各紙、専門誌でも繰り返し取り上げられるなど、2004年の販売開始以来高い評価をいただいています。教科用図書にも指定されています。

※学校納入定価も設定しています。



もじのかたちをとらえるための ひらがなえほん 1

定価 798円(本体760円+税)

「あいうえ おおきなくまさんも かきくけ こんこんこぎ つねも…」物語を通じて、ひらがなの読みを習得。ことばへの関心を高め、読み力を伸ばすことば遊び付き。

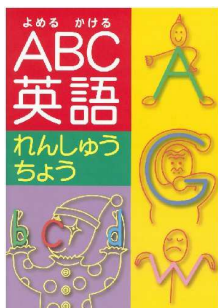
コンピュータ学習ソフト



ひらがなの森 ver.2.0

CD-ROM版 定価 2,310円(本体2,200円+税)

鏡文字や「かるい」を「イルカ」と読むなどの間違いを防ぐとともに、様々なことば遊びを通じて、考えて読む力を養います。ひらがなれんしゅうちょう準拠。



よめる かける ABC英語れんしゅうちょう

定価 700円(本体667円+税)

絵からのヒント、耳からのヒントで b/d 等の混同を防ぎます。「音の足し算」では、単語の読み書きのコツを、いつの間にか身につけられる工夫がしてあります。

※学校納入定価も設定しています。

※ 上記教材の販売によって得た収益は、不登校児童生徒の支援等に活用いたします。

※ 上記は、H26年2月現在の価格です。

※ 総額2,500円以下の場合は、送料200円をご負担いただきます。

◆ ごあいさつ ◆

「ひらがな、書けるよ」と胸を張る子ども達の姿を見ていると、それは単に文字を習得するということ以上の意味をもっていると感じさせられます。しかし「ひらがな」の習得は、大人になった私達が思うほど簡単なことではなく、ここでつまずき自信を失ってしまう子もいます。

最初から「正しい文字、美しい文字」を強いて、高すぎる目標を設定するのは問題です。手とり足とりでは、子ども達自身が考え、試行錯誤を重ねる機会を奪ってしまうことにもなりかねません。

本冊では、子ども達の苦手を軽減し、得意を伸ばす工夫を紹介しておりますが、もっとも大切なことは「一人ひとりの育ちのペースを尊重」し、自信と意欲を育むことです。

上達はゆっくりでも、大きく伸びる子もいます。子ども達の成長に、本冊が少しでもお役に立つことができれば幸いです。

2014年 2月

認定NPO法人リヴォルヴ学校教育研究所
小野村 哲



認定NPO法人リヴォルヴ学校教育研究所とは

平成12年の設立以来、不登校や学習につまずきがちな子ども達の支援と、実践の成果をまとめた教材開発等に取り組んでいます。「もじのかたちをとらえるための ひらがなれんしゅうちょう」は、文部科学省より教科用図書の指定を受け、全国の幼稚園、小学校等で採用されています。

〒305-0051 茨城県つくば市二の宮4-3-2 二の宮コーポC 101

(TEL 029-856-8143 FAX 029-896-4035)

ホームページ <http://rise.gr.jp/>

サンプルを見たい！今すぐ購入したい！という方は

下記のサイトからも教材をご購入いただけます。コンピュータ教材については、ダウンロード販売も行っています。無料で楽しめる教材もございますので、ぜひご利用ください。



森の教材館 マナビィ <http://rise.gr.jp/manaby>